

八草地区周辺整備に関する取組状況

1. 産業集積用地の整備に向けた検討

(1) 事業概要

八草地区の山林において、民間企業の研究開発施設などの産業集積用地を整備する。

(2) 今年度の取組

平成23年度から引き続き、現況・用地測量、地質・活断層調査を進めながら基本設計を実施するに当たり、計画地内に位置する活断層を考慮した土地利用計画図を作成し、保安林などの土地利用規制の対応をはじめ各法令手続きのための関係機関との調整を進め、地元及び地権者との更なる合意形成を図ってきた。

(3) 平成25年度の取組予定

平成24年度に作成した土地利用計画図をもとに、活断層の価格への影響調査及び排水計画の検討を行うことにより、事業費の再精査をするとともに進出企業の動向調査等を踏まえた事業方向性の整理を行っていく。

2. 土地区画整理事業等の手法による市街地整備に向けた検討

(1) 事業概要

八草地区は、第7次豊田市総合計画(H20.3)、豊田市都市計画マスタープラン(H20.3)において「拠点地域核」に位置づけられている。

公共交通機関(リニモと愛知環状鉄道)が結節する豊田市の北の玄関口として、駅周辺の活性化、居住者にとっての生活環境向上、自然環境と調和した「拠点地域核」にふさわしい良好な市街地形成に向け、地元まちづくり組織との共働による検討を進めている。

(2) 今年度の取組

昨年度整理した市の市街地整備方針を基に、地元まちづくり組織「八草まちづくり協議会」と今後の市街地整備の方向性と検討の進め方について確認するとともに、市街地整備方針についての理解を深めるために地区住民への説明会を実施した。

(3) 平成25年度の取組予定

まちづくり協議会、地区住民及び地権者との議論を重ね、市街地整備の計画策定に向けた取組を進めていく。

3. パークアンドライド駐車場の利用促進

(1) 事業概要

豊田市では18年度に公共交通基本計画を策定し、利便性の高い公共交通ネットワークの構築を行っている。八草駅はリニモと愛知環状鉄道が結節する豊田市の北の玄関口であり、名古屋方面及び豊田市街へのアクセスに適していることから、平成23年度に拡張工事(駐車台数:55台から170台)を実施したパークアンドライド駐車場を活用し、公共交通の利用促進を図る。

(2) 平成25年度の取組予定

指定管理者制度(平成24年4月1日～)による有料化での運用を継続する。